



座光寺風景

新しくなった元善光寺公園

昨年6月末に老朽化の為撤去された元善光寺公園の遊具が、3月12日(土)から新しくなりました。幼児向けの遊具や、少し長いすべり台もあり、子どもたちの賑わいが再び公園に戻ってきました。



本番に向けて猛特訓中

梅王・松王・桜丸の獅子曳き三兄弟を演じますのは、高岡地区、今村要君。市場通り地区、牧野長太朗君。大堤地区、北原拓弥君です。この3名の皆様には、お練

りに励んでおります。座光寺地域の皆様には多大なるご理解とご協力を頂き、また温かいお言葉を励みに準備、練習

に励んでおります。梅王・松王・桜丸の獅子曳き三兄弟を演じますのは、高岡地区、今村要君。市場通り地区、牧野長太朗君。大堤地区、北原拓弥君です。この3名の皆様には、お練

に励んでおります。座光寺地域の皆様には多大なるご理解とご協力を頂き、また温かいお言葉を励みに準備、練習

絆が深まる春祭り

麻績神社若連中代表 横前亮



年番の皆さんによる獅子花作り(2区)

り祭りと春祭りの二度の大舞台で活躍して頂きます。加えて麻績神社春祭りにおいて優美で艶やかな越後獅子を演じますのは、唐沢地区、清水彩可さん。市場通り地区、林聖子さんのお二人です。そして、赤天狗・烏天狗・おかめ・ひよっこ・げじげじの個性豊かな役者達、お囃子に合わせ、ダイナミックに舞う暴れ獅子、うららかな桜の季節、お練りまつり並びに麻績神社春祭りに是非足をお運びください。麻績の里座光寺の誇りである麻績神社春祭りが多くの皆様の心に残るよう、若連中一同一丸となって頑張っていきたいと思

飯田市 社会福祉大会

平成28年2月16日(火)飯田文化会館ホールにて飯田市社会福祉協議会の主催で「第59回飯田市社会福祉大会」が開催されました。

この大会は広く市民が一堂に会し、誰もが安心して自分らしい生活ができる地域づくりの実現を目指し、時代に応じた地域福祉の取り組みを総合的に考え推進することを目的としています。この中で座光寺地区からは宮澤俊明さん(万才地区)、石田邦子さん(北市場地区)お二人の各活動や取り組みが表彰されました。



座光寺 つどいの広場



平成28年度より『NPO法人おしゃべりサラダ』が指定管理を受けて、座光寺つどいの広場の運営を担うことになりました。

おしゃべりサラダは、親子が笑顔で元気に過ごせるよう孤立しない子育てを願い、『皆で子育て』できるような子育て支援を柱に活動しているNPO法人です。代表理事の松村由美子さんは、「これまでつどいの広場の活動内容を大事にしながらも、おしゃべりサラダのエッセンスを加えながら運営していきたい」と語りました。

会所存在の意義

上野地区会所建設委員長

園原 勝

座光寺つどいの広場(飯田市座光寺一〇〇八)の開館日は、月曜日から金曜日の9時30分から15時30分。(土日・祝日は休み)主に0歳からおおむね就園前の乳幼児とその保護者が利用します。

「地域の交流の場(会所)は不可欠である。上野地区には名ばかりの会所(教員住宅の転用)はあるが、老朽化しているばかりか機能的に不十分なこととは地域住民が認めているところである。にもかかわら



ず現在まで何の対応もして来なかった事は、住民の地域発展に対する無関心以外のなにものでもない。地域活動はインドレスである。「一刻も早く建設することは当然。」との意見もあるように早急の具体策の検討が必要となった。資金と場所が先決。

資金については、飯田市の集会施設整備事業制度を利用し、今までの積立金の自己資金で一応の目安はついた。

しかし問題は場所である。現在の場所は土砂災害警戒区域・急傾斜地にある。自治振興センター所長を通じて、市役所の担当課と同時に飯田建設事務所を訪ね相談した結果、現在のままでの建て替えは不可能で土砂流出止めを設置か、建物自体をそれに耐えられるものにする必要があることが分かった。借地でいくことにした。

最終決定までには時間も掛かったがそれだけに皆さんの気持ちも入った。

総意を必要とする「地縁による団体の法人格取得」この手続きも同時に行い、認可された。会所新築に関係して下さった全ての方に感謝申し上げます。



『ゆりかご』



私達ゆりかご会は、月2回第1と第3金曜日の午前10時から11時半まで、塩澤公民館長の御指導をいただき楽しく歌っております。伴奏には片桐祐子先生をお願いしております。会員は60代から80代の27名で、童謡、唱歌、日本の名歌、フォーク、又昔なつかしい歌などを教えていただいております。毎回出席率も良く、歌の他にも館長さんの立場で地区の出来事などユーモアのあるお話をお聞きし、楽しいひと時を過ごしております。今年の文化祭には、若い方々が歌っている「気球にのっただごまでも」という曲にも挑戦しました。皆一生懸命の練習の成果を発表することが出来ました。こんな楽しい会です。ひとりでも多くの参加をお待ちしております。

男の料理教室

料理は楽し!

北原 啓悟

私は独り暮らし1年生、食事は一応自分でつくっています。ご飯は中国人達が爆買いしていく性能の優れた炊飯器のお陰で苦労はありませんでしたが、味噌汁はなんとか出来ても料理は悩みの種でした。そこへ「男性のための料理教室」と願ってもない催しに、早速申し込み、毎回参加しました。料理教室は予め用意された食材を使って、やさしい管理栄養士さんの指導のもと、4人1組で3〜4品の料理をつくります。チームワークよくろしくレシピ(4人分)に従って手分けして刻んだり、炒めたりして進め、そして出来上がった料理は揃って頂きました。ちなみに12月はとり手羽



先甘辛煮、万能ねぎと大根のスモークサーモン巻き、そのほか2品をつくり忘年会を兼ねてお酒も嗜みました。2月はさけのホイル焼きと茶わんむしでした。茶わんむしは蒸すのがたいへんと思い込んでいますが、鍋で簡単に出来ました。お願いした一人分のレシピもありますので、今後家で楽しみたいと思います。料理教室は和気あいあいと楽しく手の込んだ料理が不器用さ故に不格好になっても、料理仲間は美味しいと食べてくれました。時間を忘れて熱中し出来あがった料理を味わうこと、これが至福のひとつだと感じ、料理は楽しみになりました。

そしていつか我が家族が一堂に会した時、ここで覚えた腕前を披露し、あっと驚かせてやろうと秘かに考えています。

少数精鋭! 宮の前地区が優勝

冬季ソフトバレーボール大会

3月6日(日)小学校体育館にて冬季ソフトバレーボール大会が行われました。今年は12チームの参加があり各チーム団結して熱いゲームが繰り広げられました。

優勝にあたって

宮の前地区体育係 今村親弘

本年は久しぶりに参加をさせていただきました。ぎりぎりの参加メンバーではありましたが、チームワークの良さでまさかの優勝という結果に繋げる事ができましたが、何よりも今年は秋の運動会が中止となり、久しぶりに地域の皆様とスポーツ交流ができてしむ事ができました。参加メンバー並びに地区の皆様の御協力に感謝します。



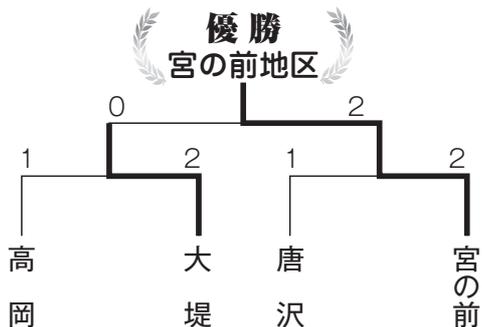
楽しかった〜!

大堤地区体育係 木下日出男

ソフトバレー大堤チームは、19才から65才とバラエティーに富んだチームです。初めは固くなっていましたが、一試合終る頃には、和気あいあいとしたチームになり気が付けば、決勝戦まで来ていました。準優勝出来ました事は、とても嬉しかったのですが、チームの人全員が、「楽しかった〜」と言ってくれた事が一番嬉しかったです。



【決勝リーグ対戦表】



平成27年度 座光寺地域文化祭

2月6日(土)7日(日)の2日間にわたり、今年度の『座光寺地域文化祭』が盛大に開催されました。今年は女性委員による「みそが汁」の無料提供、風越高校書道部の皆さんによる書道パフォーマンスや女性三味線チーム和心三味線『弦』の方々による演奏など、初めての試みも多く充実した内容でした。また竹田人形館では、座光寺小4年元気組の皆さんが人形劇まつりでも演じた「うらしま太郎の大ぼうけん」を再演してくれました。両日ともに、好天に恵まれ多くの皆さんに足を運んでいただき「大成功」のうちに終わりました。



初参加の風越高校書道部による「書道パフォーマンス」



ドライバー適正検査中



座光寺小学校金管バンド



座光寺小学校4年元気組



ニュースポーツ「囲碁ボール」の展示と体験



高陵中学校吹奏楽部の演奏



ふるさとコンサート 和心三味線「弦」のみなさん



飯田古墳群の展示



たぬきばやしの会「オレオレサンバ」

平成27年度 麻績の里 種まき大賞

今年は次の皆様に贈られました

「麻績の里種まき大賞」は、地域の中で温かな心の種をまいた個人や団体、地域のことを思って活動している個人や団体などを、「麻績の里にまかれた地域づくりの種」として紹介し、讃え励ますとともに、その活動から私たちが地域づくりに取り組もうとする心を呼び覚まし、新たな地域の活動へとその種を大きく育てていくことを願っています。平成9年度に生まれた賞で、文化祭の場において表彰します。平成27年度までは、個人15と、団体57の皆さんが受賞しています。その選考に当たっては、主として地域自治会以外の活動を対象に、①家庭のふれあいへの提言や行為 ②環境美化や環境浄化への提言や行為 ③地域向上への提言や行為、などを観点としています。

◆：受賞の方からコメント

みんなのたのしみの家 様

地域内外の高齢者の方に団らんの場をと願って、家を改装して提供しています。月1回集まって、カラオケやお料理を楽しんだり軽い体操をしたり取り組みを行っています。地域福祉の活動として模範であり、福祉に対する意識の向上に貢献している活動です。



◆高齢者の交流のためにと平成23年に始めた活動です。今では、鼎や亀丘から参加する方もおり毎月の開催がとても楽しみです。これからも、皆で仲良く活動できればと思っています。

旧南市場昭和十年会 様

身近な元善光寺公園とその周辺を、長年にわたって、月1回・第1日曜日に、お掃除をされています。公園は、小さな子どもさんの遊び場として、また、年々増える観光客の皆さんが立ち寄って散策されたり休憩されたりと利用されています。憩いの場づくりとして、地域の環境美化活動として有意義な活動です。



◆表彰いただきありがとうございます。4区の老人クラブから受け継いで10数年。遊具の取替え工事中はお休みにしていましたが、3月12日(土)で遊具も新しくなり4月から、また活動を再開していきたいと思っています。

座光寺の子ども見守り隊 様

小中学生の登下校に合わせて、近所の散歩をしたり花に水をあげたりしながら、子どもたちの、とくに通学する時の安全の見守りを長年行っています。地域の安心安全の確保と青少年の健全育成に寄与する、模範となる活動です。

元気をくれる子供達に接しつつ

◆平成18年、当時不審者の多発を機に20名で発足し現在35名程で児童の登下校の見守りを行っております。最近城(万才)地籍に不審者の出没で油断できない状況です。貴重な宝である子供達を地区全体で見守って頂くようお願いいたします。



小島 朝夫 様 (下羽場地区)

子どもたちを中心とした体験学習会の様子を、収録し編集する活動を、率先して行っています。そして、文化祭で報告したり飯田ケーブルテレビの放映を依頼したりして、地域の活動を紹介発信することを積極的に行っています。地域情報の発信による地域貢献として有意義な活動です。



◆今回の受賞を機にまた何か次に進めそうな気がします。フンパターンかもしれません。しかし、この事が、座光寺のPRになったり、10年後20年後、子供の笑顔と自然が動画として懐かしく思えば幸いです。

古墳学習会

2月24日に古墳学習会が開催されました。

飯田市内には、座光寺から竜丘や川路にかけて5〜6世紀ころの古墳が500基以上あり、この一連の古墳のうちの22基を「飯田古墳群」として史跡登録を申請したのを機に、小林正春先生をお招きし、古墳学習を開催しました。

に富んでいます。この事から、有力な豪族が良好な関係で、この地に複数存在していたと考えられています。

限られた範囲にこれだけの古墳が密集している地域は珍しく、また、墳丘や石室の構造が多様性

また、出土品などからこの地域が馬の生産地としてヤマト王権の物流・軍事を支える重要な役割を担う地域であったと考えられ、古墳時代の中頃から後期において、ヤマト王権が国作りを進めた歴史を知る貴重な資料といえます。

このように飯田地域は古墳時代の後期には、すでに中央政権と密接な関係があり、1500年以上も前から東西日本を結ぶ内陸交通の要衝だったという事が分かります。

時代は移って、将来リニアが飯田を走ります。東西を結ぶ重要な「要」となるのはこの地域の特性なのかもしれません。

(広報篠田)



27年度地域づくりフォーラム 何かが始まる予感

運営委員 横前 泰子

今年度の地域づくりフォーラムは「活かそう！ふるさとの宝く地域を元気にするため、今何ができるか？」のテーマで、『観光』『農業』『食』の3つの分科会で行いました。

『観光』は、寺や遺跡など歴史的遺産を活かした地域づくり。『農業』は、特産品やそれを基にした交流、担い手の育成。『食』は、座光寺の名物を作ろう、という内容で活発な意見交換ができました。今回のフォーラムで盛り上がった気運を次の行動につなげようと、有志の集まりが、空き店舗を利用した拠点づくりに動き出しているようです。又、女性委員の会では、文化祭で大好評だった「みそか汁」とフォーラムで話題になった「天ぷら万十」を、春祭りや桜祭りで提供するように、具体的に動きだしています。フォーラムがきっかけになって「自分もこんなことができるかも！」と行動が広がり、多くの人が訪れ、地域が潤い、住んでいるみんなが楽しくなるような座光寺になればいいと思います。

大人の体験教室

世界のワイン&日本酒を楽しむ

大人のテイステイング

2月26日(金)に、座光寺公民館大会議室において、第3回大人のワイン&日本酒テイステイング講座が開催されました。講師にワインの伝道師、浜島晃さんをお迎えし、4種類のワインと2種類の日本酒を味わいながら、個性の違いや楽しみ方を教えていただきました。

可憐なピンク色の優しい日本酒から始まり、二番目にフランス産のロゼをいただきました。そして、フランス産シャブリの白ワインとポルドーの赤ワインを味わい、5番目にはドイツのアイスワインをいただきました。糖度と酸度が非常に濃縮された贅沢な味わいに、皆さん顔がほころんでいました。最後の秘蔵しずく酒は凍結酒で、グラスの中で雪解け水となり、カクテルのようでした。

今年、女性にも優しいテイステイングコースというこ



美味しい手料理とお酒が最高です

とで、おいしいワインと珍しい日本酒を選んでくださり、本当に美味しく大満足でした。また、一人ずつ用意されたオードブルは、文化部の皆さんが朝から手作りで準備されたものでした。一品一品手が入っており、大変美味しく私は完食してしまいました。

あつという間の二時間で、皆さんと共に楽しい時間を過ごすことができ、参加して本当に良かったと思っています。(参加者K)

◆インタビュー◆

○参加者の談

ワインが大好き。歴史、醸造方法、作り手の苦勞を聞きながら、文化部の方のおもてなしを感じての2時間は、とても有意義だった。

○ソムリエ 浜島晃さん談

女性の参加が多く、わいわい元気な雰囲気良かったです。

声

投稿欄

座光寺八木節保存会

若い男女の華麗な踊り

座光寺八木節は、昭和7年に当時の座光寺地区の原宮崎地区の青年団が中心となり、上郷上黒田より教えてもらい、翌年座光寺青年団創立40周年記念事業として披露し好評を得たのが始まりです。その後、地区内外のイベントで披露して参りましたが、現在では飯田お練りまつりのみの披露となっておりです。

飯田お練りまつりには、昭和25年の戦後初の飯田市復興お練りまつりに参加して以来数回を除き通算9回目の参加となります。今回は26・27日の2日間、座光寺地区と飯田市内で披露する予定です。

原・宮崎地区を中心に集まった老若男女総勢60人で練り歩き、車の上にしつらえた屋台の上で音頭取りが



原・宮崎会所にて練習風景

四斗樽を威勢よく叩きながら、「チヨイと出ました三角野郎が、四角四面のやぐらの上で、音頭をとるとはおおそれながら…」と大声で唄います。また、お囃子が笛や太鼓ではやしたてると、それに合わせて長襦袢に花笠を持った若い男女の踊りが、リズムカルかつ華麗に舞い踊ります。その姿は、見物の人々に何度見ても飽きがないと、うならせています。

今回のお練り祭りも、勢いと元気のある踊りで、見た人や原・宮崎地区そして座光寺の皆さんが元気に暮らせる様に演じます。

座光寺の自然概観

キジの縄張り争い

座光寺の自然3

今年2月27日、座光寺宮崎

松林の畑で2羽のキジの雄の激しい争いを見ました。雄どうしの争いは見たことはあったのですが、これほど激しいものは初めて。最初は約1メートル離れてじつとにらみ合い、次第に近づきます。至近距離に至ると一方が嘴(くちばし)でつつつくと、一方は羽を広げて大きく見せ、ときに羽を強く打って「バサツ」と音をたてます。しばらく交互に繰り返した後、一方が蹴爪(けづめ)で飛びかかると、もう一方は上を向いて嘴で応じます。やがて双方とも飛びかかり、一



「ここは俺の場所。お前が出ていけ」激しくにらみ合い火花が散ります。



一方は羽を打って威嚇。そして蹴爪をたてて飛びかかります。相手も対応。

体になって上下にくんずほぐれつ、数回繰り返したでしょうか。シャモの闘鶏(とうけい)はさもあらん、と言ったところですが、やがて一方が逃げ、もう一方が追いかけて行きます。藪の陰になってその先は確認できません。勝負あったのでしよう。時間にして5分弱。普通はもつと早く決着、この種の争いでは長いものでした。

キジの生態

キジは日本の代表的な鳥。深い森でなく、明るい林、開けた草原が本来の生息地です。果樹園や畑地はキジに

とつては本拠地。人が農耕を始めると共に増えたと思われる。いつも人々の近くにいましたから、「桃太郎」にも登場しますし、「キジも鳴かずば撃たれまい」の言葉も生まれました。

座光寺のキジ

座光寺では段丘崖の上の果樹園や畑に広く生息しています。天竜川では河川敷やその周辺の畑地に生息しています。座光寺の河川敷は面積が狭く、生息しているか確認はできないでいます。南大島川沿いにはかなり低いところまで分布していますが、天竜川付近まではつながっていないようです。

上段で農作業している人は



「出ていかなければ実力で追い出す」激しく取っ組み合いの勝負です。

しばしば見ることがあるはず。ただよく目にするのは春。一年中いるはずですが、繁殖期の、それも縄張りを主張するときに目立つようです。ケーンと鳴くと言いますが、もつと濁つた声です。また羽を胴に打ち付ける母衣(ほろ)打ちのブルブルという音もしばしば聞こえます。両方とも縄張り宣言の行動です。一羽の雄の縄張りには複数の雌が入りしていると言われます。雌は5月頃に地表の簡単な巣に10個ほどの卵を産み、自分で温めます。孵化した雛(ひな)は数時間で歩き、巣立ちします。早く巣立つのは地表性のライチョウ、ウズラ等と共通の性質で、それだけヘビやイ

タチなどの天敵が多いからです。母鳥は雛を連れて移動しながら子育てします。この雛は実にかわいいのですが、めつたに見ることはありません。隠れながら移動すること、猫やカラスなどの天敵にやられる個体が多いためと思われま

(伊那谷自然友の会会長)

小林正明

編集後記

先日、ピカソ・天才の秘密展に行つて来ました。美術館に行くことは滅多にないので、友人が行つて来たと言ふ話を聞いて、興味を持ち愛知県立美術館まで出かけました。

誰もが知っているあのピカソですが、私が知っているピカソは晩年の理解が難しいかなというイメージの作品です。今回の作品展は、少年時代から30代後半までの若い頃の作品で、少年時代、青の時代、バラ色の時代、キュビスムとその後、の4章にわたつての紹介で、特に少年時代の絵は天才と言われたのがよくわかる作品でした。

春は麻績の桜に春祭り賑わうのが楽しみです。(広報△)



広報座光寺 発行/座光寺地域自治会 編集/公民館委員会広報部 印刷/龍共印刷株式会社 この広報誌は、再生紙を使用しています。

